

公表日：令和5年8月2日

事業所名：after school willbe

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫等）	数値の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	準備品はほとんど種類可能なものを使用し、広さも十分に確保できている	100%	十分な確保ができているため現状を維持していく	
	2 職員の適切な配置	基準を満たしたうえで指導員の数を多く配置している	100%	児童の人数も増えてきている為、更なる人員配置を心がけていく	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バージョンや物品なども子どもの特長や安全面を考慮し、稼働可能なものを使用	100%	今後も十分に考慮し、更に既製のツールを導入していく	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	掃除・消毒を毎日2回以上行っている	100%	十分に配慮ができているため現状を維持していく	
業務改善	1 業務改善を進めるための社内システム（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	打合せなどを行い、定期的に改善している		今後も常にカンファレンスを取り入れ周知していく	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	コロナ感染拡大の為、感染対策に十分注意して行う		改善を図り、今後も積極的に行う	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月一回研修を行っている		月一回研修を行っている為、現状を維持する	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者様と面談を行い、面談が合わない場合はミーティングなどを使用し、個別に話す機会を設けている	100%	今後も満足していただけるよう、今以上にニーズや課題の理解を深め計画書を作成していく	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもひとりひとりに合った支援内容を考えるように心がけている	100%	現時点での保護者からの回答を踏まえ十分に満足していただけるよう計画書を作成していく	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもひとりひとりに合った支援内容を考えるように心がけている	100%	現時点での保護者からの回答を踏まえ今以上のサービス計画を立てるよう心がけていく	
適切な支援の提供（一括書き）	1 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に合った適切な支援の実施	定期的に計画書を確認し、また新しいソフトの導入により、すぐに確認できる環境を整え、全職員に周知するよう努めている	100%	支援の実地状況（お子様の様子など）更に働く保護者の方に伝えていく	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	教室内にリクエストボックスを設置し、職員だけでなく児童自らを出せるような環境作りを促進し、毎月実施するプログラムを考案している		視野を広げ、今後も様々なプログラムを取り入れていく	
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	送迎時間・場所などできるだけ保護者様の希望に添えるよう調整している		現状を維持し、希望に添えるように調整していく	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じ内容にならないよう教材ごとこのプログラムを考案し、3学期制度を取り入れたうえで教材の実施する曜日にも振りかざすよう考案を伴って実施している	100%	今後も週一回の場所でも年間全ての教材は教材を準備し、より配慮し、児童が楽しく安全に活動に参加できるように努めていく	
	8 支援開始前における職員間でのその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	児童の実態より必ず打ち合わせを行い、役割分担についての確認を行っている		事前準備を行い、今後も時間に余裕をもって活動の準備に努めていく	
	9 支援終了後における職員間でのその日行われた支援の振り返りや実行した点などの情報の共有化	毎日、職員同士での感想・意見交換の時間を確保し、情報共有を行っている		今後もカンファレンスやミーティング以外にも意見交換できる時間の確保に努め、現状を維持していく	
	10 日々の支援に関する適切な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日都度行い、月1回以上全体で記録の仕方などに間違いがない確認を行っている		都度、複数の職員で再確認を行っている	
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一回必ずモニタリングを行い計画の見直しをしている		半年では児童の成長や環境などの変化も考えられるため、その児童に合った見直しを行っている	
	関係機関との連携	1 子どもが状況に精通した者もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサードピア担当へ参画	コロナ感染拡大予防のため電話予約やミーティングを使用し、意見交換・情報・計画の見直しを行っている		今後も感染状況に合わせ積極的に参加していく
		2 (保護者が必要とする子どもや保護者の希望のある子ども等も支援している場合)	該当なし		該当なし
3 (保護者が必要とする子どもや保護者の希望のある子ども等も支援している場合)		該当なし		該当なし	
4 児童発達支援事業所からの内泊など移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間で支援内容等の十分な情報共有		今年度は新入生が多かったことから児童発達支援事業所から情報を得ることが多かった		今後も都度情報共有を行っている	
5 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		コロナ感染予防に十分配慮し、職員一人ひとりに研修への参加を促すよう努めた		今後も感染対策に配慮しできる限り積極的に研修への参加を行っている	
6 児童発達支援の場での保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスとの連携の促進		コロナ感染に考慮し、屋外で積極的に活動できるようにイベントを開催し、児童の興味を高めるよう努めた	70.5%	今後もコロナの感染状況に合わせ積極的に機会を作っていく	
7 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		コロナ感染に配慮しつつながら、教室の一部に招待する機会などを設け、地域の方を招待するイベントを開催し、また、野外で実施する機会を増やすよう努めた		今後もコロナの感染状況に合わせ積極的に機会を作っていく	
8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		契約の期に必ず保護者へ説明を行い、請求書・領収書など細かく伝えるよう努めた	100%	今後も特に金銭に関係している場合は、丁寧かつ慎重に説明していくよう努める	
保護者への説明・連携支援	1 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の説明	個別面談が難しい場合は、ミーティングや電話などを利用して保護者のニーズに応えるよう努め、また、必要に応じて保護者から質問や不安を解消できるように努める	100%	現状を維持し今後も児童の様子など細かく伝え、職員の実績や伝え方の補強を行っている	
	2 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	コロナ感染予防に配慮し、相談支援を行いお子様の特性など相互理解を図った	100%	今後もペアレント・トレーニングなど個別に丁寧な相談支援を実施し、保護者のニーズに合わせた支援を行うよう努める	
	3 子どもと保護者との関係について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者の方の意見、家庭での様子、また教室での様子の情報共有をしている	80.3%	今後も教室での様子などを伝えたい一方で、しっかりと子どもとペアレント・トレーニングなど共通理解の徹底を図っていく	
	4 保護者からの学習での悩み等に対する相談への適切な対応と必要な指導の実施	コロナ感染予防を考慮し、必要最低限の面談を行った	100%	追加により、面談の時間などを短く丁寧な相談支援の実施やニーズの理解をいかにと理解し、相談時の保護者からの回答を踏まえ今以上に支援が実施できるように努める	
	5 父母の余の活動の支援や、保護者同士の関係による保護者同士の連携支援	昨年の保護者会での反省を踏まえ、保護者同士がスムーズに交流できるような内容構成で実施できた	100%	今後も今以上に交流の機会を増やし、職員の経験を活かすとともに、保護者同士の連携が取れる環境づくりを努めていく	
	6 子どもと保護者からの意見に対する対応の徹底や、子どもと保護者同士の関係が良好な状態を維持するための適切な対応	保護者からの意見は素直に受け止め、全職員で共有し、迅速な対応と改善に努めた	80.3%	現時点での保護者からの回答を踏まえ十分に満足していただけるよう今後も原因の追究を行い、改善を図っていく。また、定期的な研修で対応方法を学ぶ	
	7 障害のある子どもと保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者とのコミュニケーションを心がけ、話しやすい環境づくりに努めた	100%	今後、保護者様との信頼関係を更に築いていく	
	8 定期的な情報等の発行、活動概要や行事等、連絡事項の届出についての子どもや保護者への発信	予定だけでなく、外出先をピックアップしたものを週別に分けやすくするためのカレンダーなどを毎月個別で配布するよう努めた	100%	今後も個人情報を取り扱いに十分配慮し、安心・安全な環境づくり、情報発信の環境整備に努めていく	
	9 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約の期に必ず説明を行い、クラウドで管理できる環境を整え、事業所内での取扱いにも注意を行うなど努めた	100%	今後も現状を維持し、利用規約や個人情報の取り扱い方法など保護者への説明を十分にを行い、同意を得たうえで必要な個人情報保護対応の実施を行う	
	非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染防止マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	説明が足りず、どの部分に該当するかなど、確認を求めないことがアンケートを分析した	70.6%	保護者様への再説明、お便りなど積極的に発信し周知徹底を目指す
2 非常災害の発生に備え、定期的な避難訓練、救出その他必要な訓練の実施		実施前にお知らせを発行する際、内容が具体的にわかるよう写真などを掲載し、避難訓練、防災学習などのプログラムを通じ、実施できた	100%	今後も訓練への参加を促し、保護者の方にもお知らせ等として配布を行い周知徹底を目指す	
3 虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応		虐待防止委員会を設置し、全職員に年1回以上必ず研修を行っている		今後も年に一回の研修を含め、新しい職員の増員に際して個別研修を行うなど、定期的に研修を行っている	
4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的決定や、子どもと保護者同士の関係が良好な状態を維持するための適切な対応		現状該当する事例はないが、必要時がある場合は事前に保護者に説明、確認を行い、全職員での情報共有と個別に計画書の作成・作成を行い、児童の身体への安全性を考えた対応方法を職員に実施し、実施に努めた		現状ないが、やむを得ない場合は想定した研修などを実施し、事前に職員の知識や対応方法など個別の対応力を高めるよう努める	
5 食物アレルギーのある子どもに対する個別の指示書に基づく適切な対応		今後も都度、提携医療機関に問い合わせを行い、適切な対応の指導を受け、安全な環境づくりに努めていく		今後も研修で取り上げ、アレルギーについての理解を深めるよう努めていく	
6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		日々の日報に記載を行い、業務日報にて必ず確認し、全職員で情報共有を行っている		今後も出勤時には日報すべてに目を通し、情報を共有しておくよう職員に周知していく	